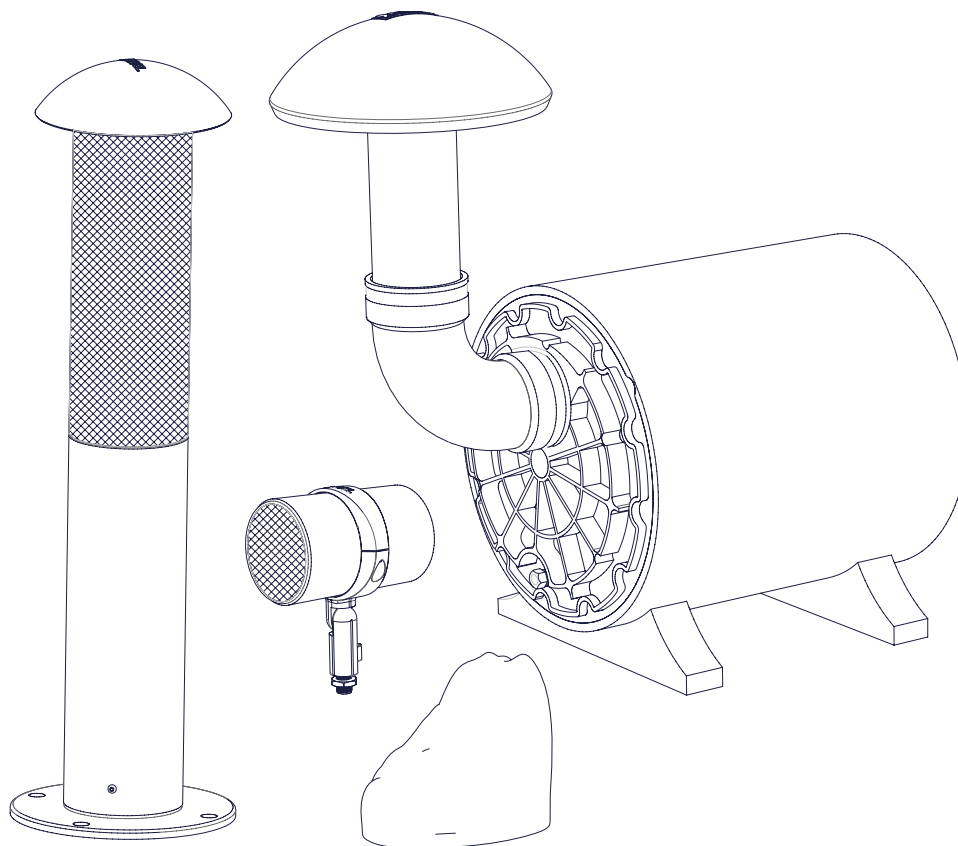


# REVEL®

**Extreme Climateシリーズ・ランドスケープ  
L41XC、L42XC、L12XC  
取扱説明書**



## 重要な安全上の注意

1. メーカーによって指定された付属品のみを使用する。
2. メーカーによって指定された、または装置と同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用する。カートを使用する場合、転倒によるけがを避けるためにカートに載せて装置を移動する際には注意する。
3. 資格のあるサービス提供者に全ての修理を任せる。電源コードまたはプラグが破損した、装置に液体がこぼれたまたは物が落ちた、または装置が雨または湿気にさらされて正常に作動しない、または装置を落とした場合のように、装置が何らかの形で破損した場合、修理が必要である。



この商品は絶対に他の家庭ごみと一緒に処分や廃棄をしてはいけません。あなたは電気・電子機器は必ず、危険廃棄物のリサイクル用の指定された回収場所に持っていき処分する責任があります。電気・電子機器廃棄物を処分する際に、隔離と適切な回収によって、天然資源の保存に一役買う事ができます。さらに、適切な電気・電子機器廃棄物のリサイクルによって、人間の健康や環境を守る事ができます。電気・電子廃棄物の処分、回収、回収場所に関する詳しい情報は、地域の役所、家庭ごみ処理サービス、機器を購入した店または製造者に問い合わせてください。

## WEEE警告

2014年2月14日にEU法として施行されたWEEE指令 (Waste Electrical and Electronic Equipment )は使用が終了した電子機器の取り扱いに大きな変化をもたらしました。

この指令の最優先目的は、電子機器の廃棄を回避する事です。次に、廃棄物を減らすために廃棄物の再利用、リサイクル、その他の形式の回収を促す事です。商品や箱に掲載されている、電気・電子機器の回収を意味するWEEE指令のロゴは、下の図のように車輪にハン印の付いたゴミ箱で構成されています。

## RoHSコンプライアンス

この製品は、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する2011年 6月8日の欧州議会及び理事会指令 (2011/65/EU) に準拠しています。

## 目次

Revel® XC Extreme Climateシリーズ・ランドスケープスピーカーについて.....	2
機能の特徴 .....	3
ランドスピーカーを箱から取り出す.....	3
スピーカーの位置.....	4
システム的设计.....	4
取り付けの手順.....	5
L41XCサテライト・スピーカー .....	6
L42XCボラードスタイル・サテライト・スピーカー .....	8
L12XC Subwoofer .....	9
70V分散配線システム .....	10
配線の手順 .....	11
L41XCサテライト・スピーカー .....	11
L42XCボラード・サテライト・スピーカー.....	14
L12XC Subwoofer .....	17
スピーカーの塗装.....	18
手入れとメンテナンス.....	18
仕様.....	19

## REVEL® XC EXTREME CLIMATEシリーズ・ランドスケープスピーカーについて

Revel Extreme Climateランドスケープ・ラウドスピーカーをお買い上げいただき、ありがとうございます。設置前にこの説明書を読んで、本製品について良く理解してください。XCランドスケープ・ラウドスピーカーはRevelの妥協しない、受賞歴のあるサウンドを庭のある風景や屋外にお届けするために設計されました。本製品は、サウンドクオリティを維持しながら、アウトドア環境に必要な多機能性、耐久性、ハイパフォーマンスを提供しています。Revel XCランドスケープ・ラウドスピーカーは高品質アウトドア・オーディオのための究極のスピーカー・ソリューションを提供します。

## 機能の特徴

### REVEL L41XCランドスケープ・サテライト・スピーカー

- 耐久性のあるマイクロ・セラミック・コンポジット(MCC)アルミニウム・ダイアフラム・ウーファーおよびツイーターを備えたコンパクトな2ウェイラウドスピーカー
- Extreme Climateの製造品質は、厳しいIP67耐候基準に適合しています。
- セレクトابل・パワータップ(7.5、15、30、60W)付きで70V一体型トランスを搭載して、4Ωまたは70Vで動作
- スライドする取り付けカラー付き、アルミニウム・ハウジングが柔軟な設置と配置の安定性を実現
- 12インチ/300mmグラウンド・スパイクが付属
- オプションの取り付けブラケットにより、壁および木への取り付けが可能です。またはペンダントが「スポットライト」スタイルのスピーカーとして使用できます。

### REVEL L42XCランドスケープ・ボラード・スピーカー

- 一体型低電圧照明付き、ボラードスタイル2ウェイラウドスピーカー
- 耐久性のあるマイクロ・セラミック・コンポジット(MCC)アルミニウム・ダイアフラム・ウーファーおよびツイーター
- Extreme Climateの製造品質は、厳しいIP67耐候基準に適合しています。
- セレクトابل・パワータップ(7.5、15、30、60W)付きで一体型トランスを搭載し、4Ωまたは70Vでのシステム動作
- 300万色の温度LEDとセパレート操作(サードパーティー製低電圧トランスが必要)付きの、一体型低電圧照明により、歩道用のライト、または一般的な補助光として使用可能
- ビグテール・スピーカー&照明がカスタム・インテグレーションと独立した操作を実現
- 360度グリル付きアルミニウム・ハウジング
- グリルの下の中間ポイントまで埋設することが可能
- オプションのブラケットを表面に取り付け可能

### REVEL L12XCランドスケープ・ベリアルSUBWOOFER

- 屋外埋設用のバンドパスsubwooferシステム
- ずば抜けたステルスデザインにより、バスベント・キャンピー以外を隠すことが可能
- 12インチ/305mmの頑丈なアルミニウムコーン・ウーファー
- Extreme Climateの製造品質による地下のエンクロージャーは厳しいIP67耐候性基準に適合。さらに、ポートキャンピーもIP43仕様
- セレクトابل・パワータップ(31.25、62.5、125、60W)付きで70Vの外付けロックスタイル・トランスを搭載し、6Ωまたは70Vでシステムが動作
- アルミニウム・キャンピーとポリマーポート・チューブ「排気筒」付きのコンポジット・ハウジング

## ラウドスピーカーを箱から取り出す

気をつけてラウドスピーカーを箱から取り出してください。運送中の損傷がある場合は、ただちに販売店および/または配送サービスにご報告ください。後で使用できるように、発送用のダンボールおよびこん包材を保管してください。

### 箱の内容

Revel XCシリーズ・スピーカーの箱には製品ごとに以下の物が同梱されています：

#### L41XC:

L41XCランドスケープ・サテライト・スピーカー 1

地面打ち込み杭 1

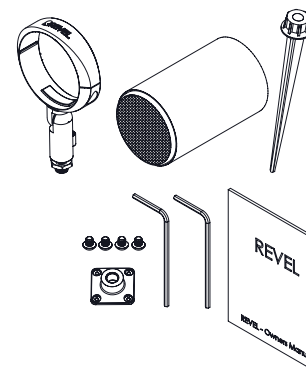
取り付けブラケット 1

ユニバーサル・クランプ 1

M4アルミニウム小ねじ

六角レンチ 2本

取扱説明書 1



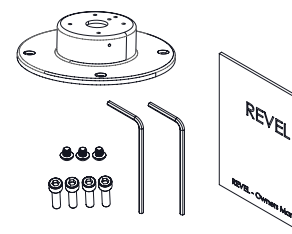
#### L42MXC:

取り付けブラケット 1

M5x16mmアルミニウム・キャップヘッドねじ 4本

M5x16mmアルミニウム・ボタンヘッドねじ 3本

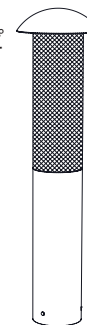
六角レンチ 2本



#### L42XC:

ボラードスタイル・スピーカー 1

取扱説明書 1



#### L12XC:

ランドスケープsubwoofer 1

バス・ポートキャンピー 1

バス・ポートひじ管 1

ロックランス 1

取扱説明書 1



## スピーカーの位置

Revel XCランドスケープ・ラウドスピーカーは最適なオーディオ・パフォーマンスと耐久性を備えて設計されました。しかし、配置がサウンド・クオリティに大きな影響を及ぼす可能性があります。リスニング位置の方向に向くように、サテライト・ラウドスピーカーを設置します。設置するシステムが安全で適切に設置されており、ラウドスピーカーが危険な位置に置かれていないことをご確認ください。適切なプランニング、配置、および設置により、アウトドア・ラウドスピーカーは何年もの高品質サービスを実現します。

## システム的设计

全てのRevel XCシリーズ・ランドスケープとアウトドア・モニタースピーカーは同じ基準のニュートラルで正確な音を目指して設計されていて、システムに一体化させることができます。例えば、L42XC ボード・スピーカーの通路に沿った、または内蔵LEDライトを利用しての中庭、あるいはその近くへの設置は理想的です。L41XCスピーカーは庭や植え込みの中に設置すれば完璧です。一方、M55XCおよびM80XCモニタースタイル・モデルは軒下の地面、ガードレール、フェンスポストに設置することができます。

アウトドア・オーディオ・システムの開発を計画する場合、3つの重要な要素を肝に銘じてください。

1. L41 XCおよびL42XCモデルは「サテライト」スタイルのスピーカーで、常に最低1基のL12XC subwooferと共に使用する必要があります。最適なパフォーマンスのため、ランドスケープ・プロジェクト向けのスペースと有効範囲に応じて、3基のL41XCサテライト・スピーカーにつき1基のL12XC subwooferを使用します。同様に、2基のL42XCボード・スピーカーにつき、1基のL12XC subwooferを使用します。有効範囲に対して、L41XCとL42XCメイン・スピーカーを使用したオーディオ・システムをデザインします。次にその都度、必要に応じてL12XC subwooferの数を増やしてください。
2. サテライト・スピーカーの音が広がる角度は、エリアを十分カバーするのに必要なスピーカーの数に影響します。L41XCは70度で音が広がり、L42XCの場合は120度です。スピーカーがリスニング位置に近いほど、カバーする範囲は小さくなります。図1で行われているように、有効範囲の角度を考慮してシステムの計画を練ることが望ましいです。
3. スピーカーから音楽を聴く人への距離が2倍になると、音圧レベルが6dB低下します。聞く人がスピーカーから1mの距離で76dBのサウンドを聞く場合、同じスピーカーから2mの地点にいる人には70dBで聞こえ、4m離れていると64dBで聞こえます。この目安は、あらゆる場所で卓越したサウンドを実現するのに必要なスピーカーの配置と数を考えるのに役立ちます。

## 取り付けの手順

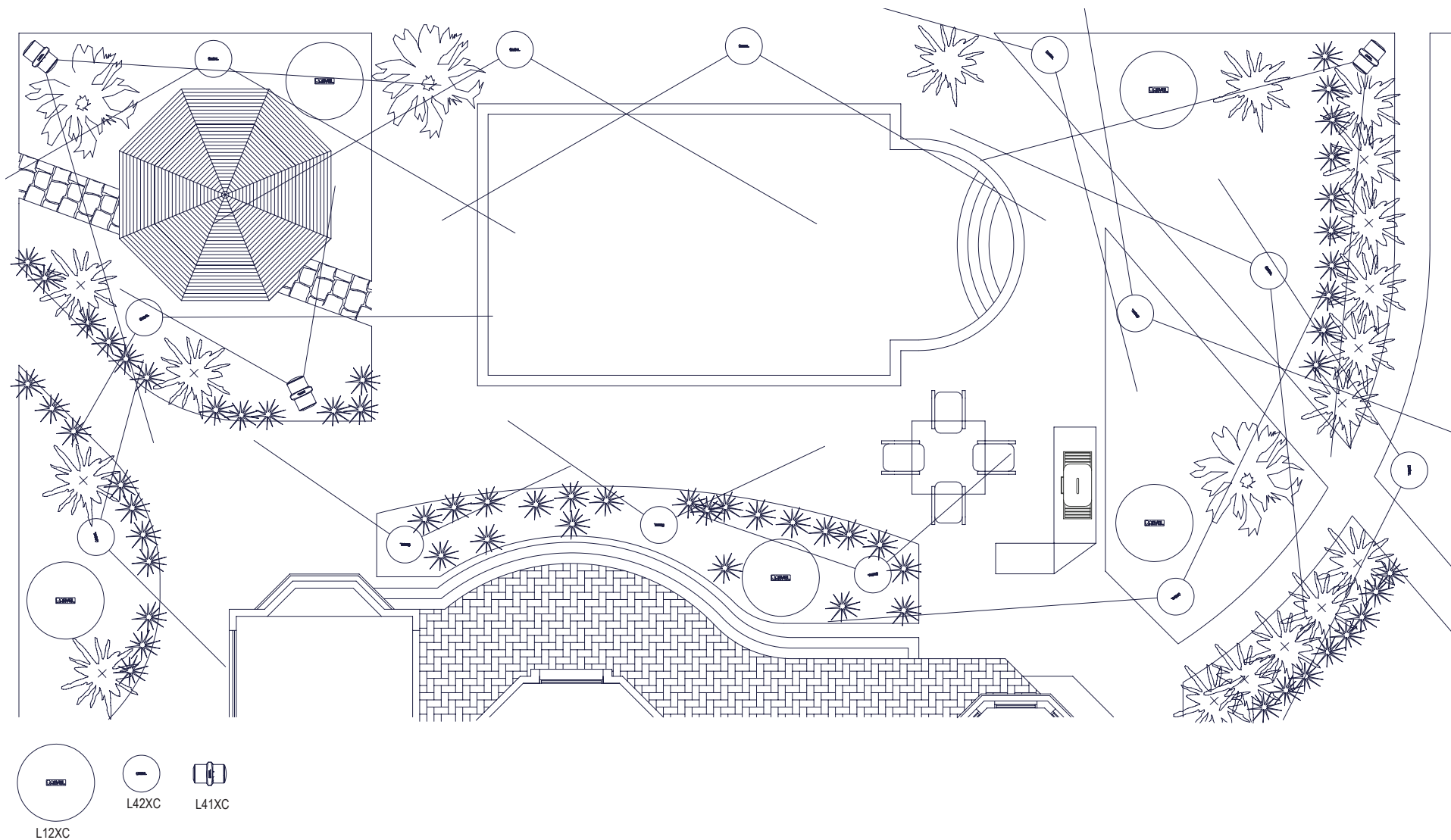


図1

## L41XCサテライト・スピーカー

LC41XCは、同梱の取り付けブラケットを使っていかなる平面にも、または同梱の地面打ち込み杭で地面に設置することができます。

### 平面への設置

1. 木ねじ(別売)を使用して、木の面に取り付けブラケットを取り付けます。木以外の材質の面に取り付けの場合、材質に対して適切なねじと留め具(別売)を使用します(図2をご覧ください)。

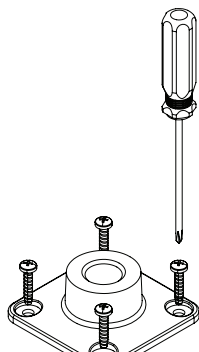


図2

2. クランプ/スピーカー部品のねじ軸を取り付けブラケットにねじ込みます。いったん好きな方向に向けたら、レンチ(別売)でロッキング・ナットを締めて位置を固定します(図3をご覧ください)。

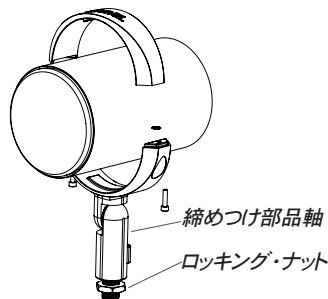


図3

3. 重心のバランスを取る必要がある場合は、クランプの範囲内でスピーカーを前後にスライドさせられるように、付属の六角レンチで止めねじを緩めます。最もバランスが取れて安定するように、スピーカー本体を置きます。

4. 付属の六角レンチを使用して、締めつけ部品を完全に締めます。絶対に締めすぎないください。
5. Philips製ねじ回し(別売)を使用して、角度を上げるロッキングねじ(図4をご覧ください)を緩め、スピーカーをお好きな角度にしてロッキングねじを手で締めます。絶対に締めすぎないください。

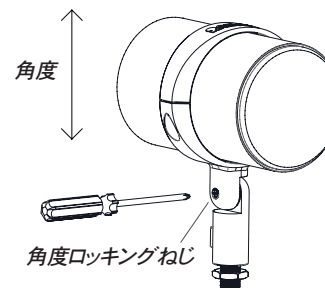


図4

6. 図5に示されているように、締めつけ部品軸上のワイヤーガイドを使って、ピグテール接続ワイヤーを通します。

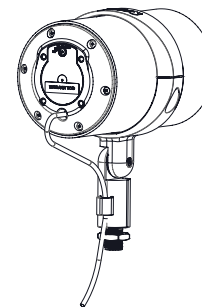
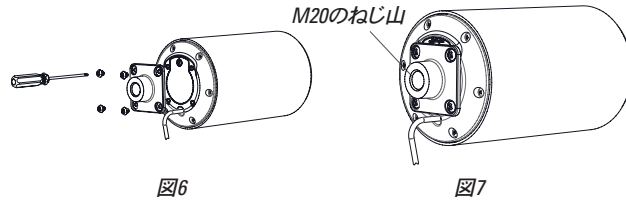


図5



## 別の面への設置

L41XCは、サードパーティー製(別売)壁はめ込み用金具、または17.25mmでねじ山がM20のねじ切り鋼管に取り付けることもできます。図6と7に示されているように、付属の4本の小ねじで、Revel取り付けブラケットをスピーカー背面に直接取り付けます。



スピーカーとRevelの金具は、ただちに17.25mmでねじ山がM20のどんなサードパーティー製ブラケットにもはめることができます。サードパーティー製ブラケットは、L41XCスピーカー(4.5kg (9.9ポンド)の重量を支えられる定格である必要があります。サードパーティー製ブラケットが、材質に合った金具で設置面にしっかりと取り付けられていることを確認し、サードパーティー製ブラケットのメーカーの指示にきちんと従ってください。

## 地面打ち込み杭の設置

1. 地面打ち込み杭を止まって動かなくなるまで地面に押しこんでください。
2. 図8に示されているように、地面打ち込み杭に締めつけ部品のねじ軸をねじ込み、位置を固定するため、レンチ(別売)でロッキング・ナットを締めます。

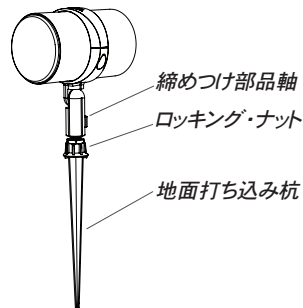
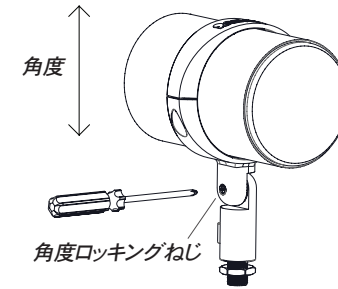


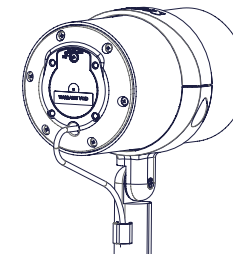
図8

3. 重心のバランスを取る必要がある場合は、クランプの範囲内でスピーカーを前後にスライドさせられるように、付属の六角レンチで止めねじを緩めます。最もバランスが取れて安定するように、スピーカー本体を置きます。

4. 付属の六角レンチを使用して、締めつけ部品を完全に締めます。絶対に締めすぎないでください。
5. Philipsのネジ回し(別売)を使用して、角度を上げるロッキングねじ(図9をご覧ください)を緩め、好きな角度にスピーカーを持ち上げてロッキングねじを手で締めます。絶対に締めすぎないでください。



6. 図10に示されているように、締めつけ部品軸上のワイヤーガイドを通して、ピグテール接続ワイヤーを装着させます。



ピグテール・オーディオ信号および照明用ワイヤーを通して接続します(11ページの配線の手順をお読みください)。

### 平面への設置

L42XCは、オプションのL42MXC取り付けブラケットベース(別売)で水平面への取り付けが可能です。

1. L42XCを逆さにして、ドームに傷が付かないようにするために、ドームを段ポールまたは発泡スチロールのこん包材の上に置きます。
2. 図11に示されているように、取り付けブラケットの中央の穴からピグテール4芯ワイヤーを通します。

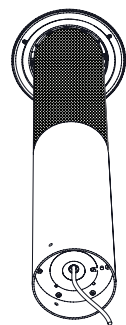


図11

3. 4本の付属のM5x16mmキャップヘッドねじで、スピーカー底部に取り付けブラケットベースを取り付けます。
4. 図12に示されているように、3本のM5x12mmボタンヘッドねじをエンクロージャーの側面に差し込みます。

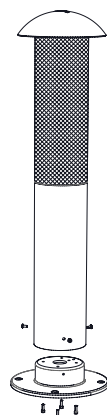


図12

5. ピグテール・オーディオ信号および照明用ワイヤーを通して接続します(11ページの配線の手順をお読みください)。
6. 面の材質に合った金具で、どんな水平面でも、L42MXCの取り付けブラケットベースを固定します。スピーカーのグリル側が好きな方向に面するように、取り付けブラケットベースの方向を決めます。

### 部分的な埋設

1. 約50cm(20インチ)の深さ、18cm(7インチ)の直径で穴を掘ります。
2. 細かい砂利で、穴の底50mm(2インチ)までを覆います。
3. 穴の中にL42XCスピーカーを差し込みます。地表面より上のスピーカーが好みの高さになるように、必要に応じて砂利の高さを調整します。図13で示されているように、照明フードの底部を地表面から約39~42cm(15.5~16.5インチ)の位置にする必要があります。

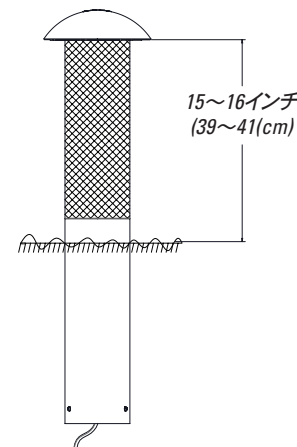


図13

4. ピグテール・オーディオ信号および照明用ワイヤーを通して接続します(11ページの配線の手順をお読みください)。
5. アルコール水準器を使って、スピーカーが完璧に垂直になるように徹底します。土でスピーカーの周りの穴を埋め、しっかりと固めます。



## L12XC SUBWOOFER

1. 図14で示されているように、subwooferのエンクロージャーにフード付きのひじ管とポートを取り付けます。

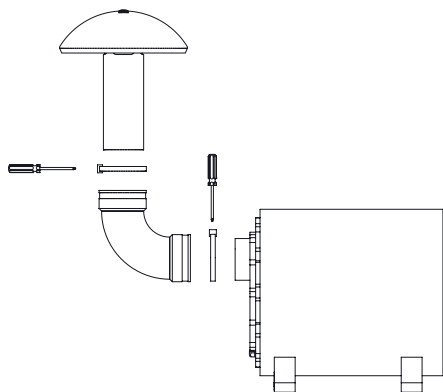


図14

2. ホースのクランプを締めて、皿頭ねじ回してひじ管、ポート、エンクロージャーを一緒に固定します。ひじ管とポートが完璧に垂直な状態を保つように気をつけてください。クランプを締める間、適切な位置で部品を持ってくれる人がいればベストです。
3. 最低、深さ61cm(24インチ)、幅56cm(22インチ)、奥行100cm(39インチ)の穴を掘ります。
4. 細かい砂利で、穴の底50mm(2インチ)まで覆います。
5. 穴の中にL12XCスピーカーをはめ込みます。地表面より上にあるポートのフードが好みの高さになるように、必要に応じて砂利の高さを調整します。図15に示されているようにポートは、地表面からフードの底部まで約19cm(7.5インチ)突き出ている必要があります。

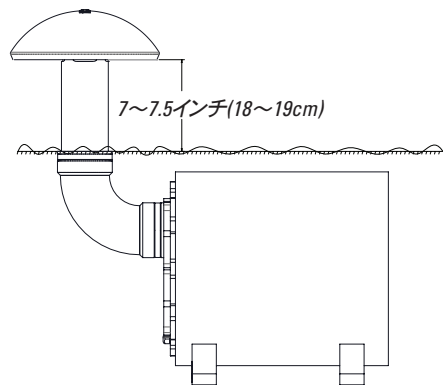


図15

6. アルコール水準器を使って、確実にエンクロージャーが水平に、ポートチューブが垂直になるようにします。
7. アンプまたはトランスロックに、ピグテール信号ワイヤーを通して接続します(11ページの配線の手順をお読みください)。
8. 土でスピーカーの周りの穴を埋め、しっかりと固めます。

## 70V分散配線システム

この説明書で取り上げられている全てのRevel XCスピーカーモデルは、従来のHiFiアンプで駆動する低インピーダンス負荷、またはCrown CDi 2|300またはCrown CDi 2|600ドライブコア・アンプのような、互換性のある、70Vで使用可能な線間電圧アンプ駆動の70V負荷で使用することができます。

**警告-Revel XCシリーズ・スピーカーを100Vアンプ出力に接続しないでください。スピーカーが損傷する恐れがあります。Crown CDiモデルのような一部のアンプでは、70Vまたは100V出力のどちらかを選択できます。低電圧出力を選択する場合は、常に70Vを選択してください。**

70V分散配線システムには、シングルアンプ・チャンネルで多くのスピーカーの作動を可能にするという利点があります。これにより、システムの配線がもっと簡単になります。全スピーカータップの合計がアンプの電力定格を超えることはないという条件で、一つのアンプチャンネルに好きなだけXCスピーカーを接続できます。最良のやり方は、トータルのスピーカー負荷をアンプの電力定格の90%に制限することです。

70Vシステムなら、音楽を聴く人のスピーカーへの近さや、周囲のノイズレベルに応じて各スピーカーの相対ボリュームを異なるレベルにセットすることも可能です。例えば、会話している人の近くにあるスピーカーより、プールサイドのスピーカーを大音量で再生するのもいいかもしれません。スピーカーのねじを回すと、各スピーカーの相対ボリュームレベルを簡単に変えることができます。

70Vシステムを構成する最高の方法は、システムのプリアンプまたはプロセッサからのモノラル信号を受けるアンプの1チャンネルをフィードし、そのチャンネルの全てのサテライト・スピーカーの電源を切ることです。ステレオは、めったにリスニングエリアを定められない屋外では、屋内で音楽を聴く時と違って、メリットがないことがよくあります。プリアンプまたはプロセッサからアンプの他のチャンネルにsubwoofer出力をフィードし、その配線にsubwooferを通します。

一般的なシステムは、図16のように構成することができます。L41XCスピーカーを中庭近くの庭のエリアに配列し、L42XCスピーカーを通路に並べます。

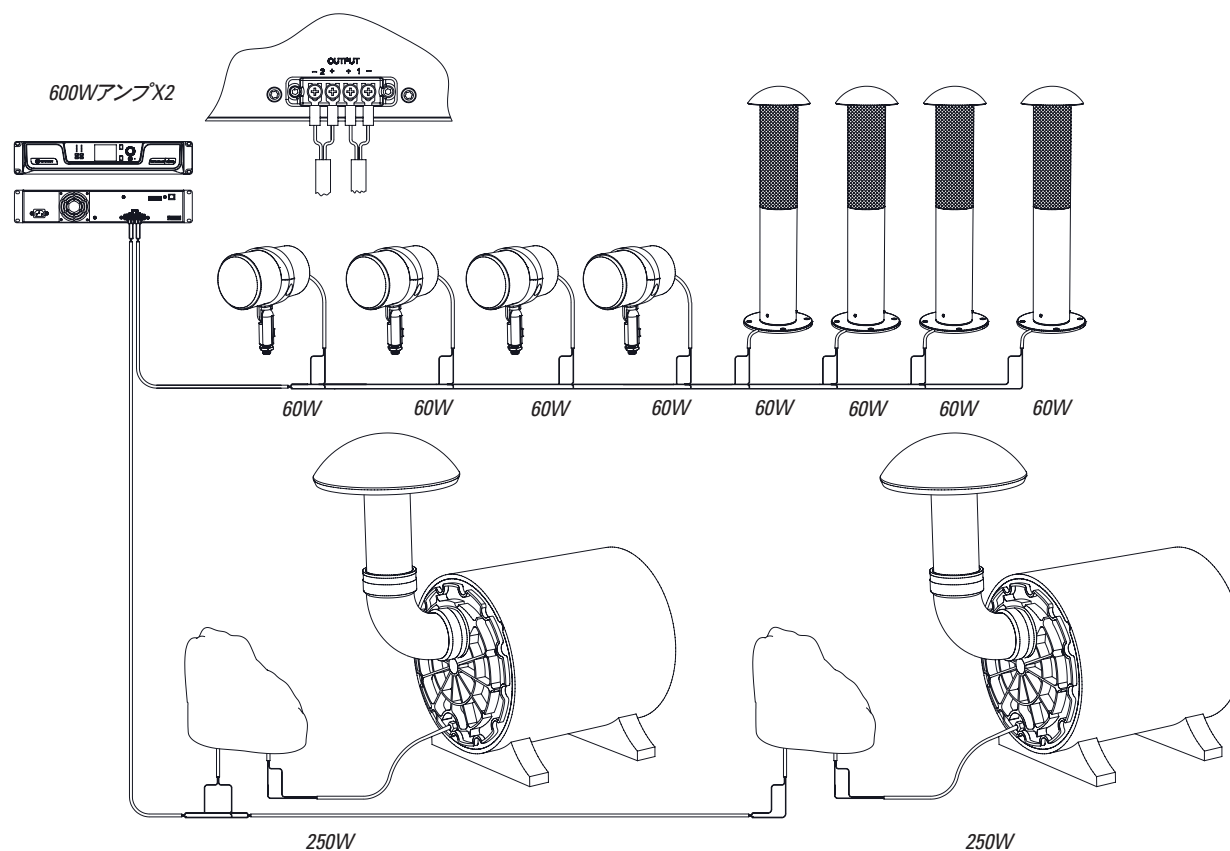


図16

## 配線の手順

### 正しい極性の重要性(「同相/位相外れ」)

必ず、全てのスピーカーを正しい極性でアンプに配線してください。アンプの(+)スピーカー出力端子をラウドスピーカーの(+)入力ピグテール・ワイヤーに配線し、アンプの(-)スピーカー出力端子をスピーカーの(-)ピグテール・ワイヤーに配線してください(図17をご覧ください)。2基のラウドスピーカーがお互いに反対の極性で配線されている(位相外れ)場合、スピーカーがフル稼働していても、ラウドスピーカーの低周波が互いに打ち消し合います。イコライザーで低音の欠如を補正しようとする、ラウドスピーカーに損傷を与える可能性があります。イコライゼーションは誤った極性を補正することはできません。全てのスピーカーが適切な極性で接続されていることを常に確認してください。

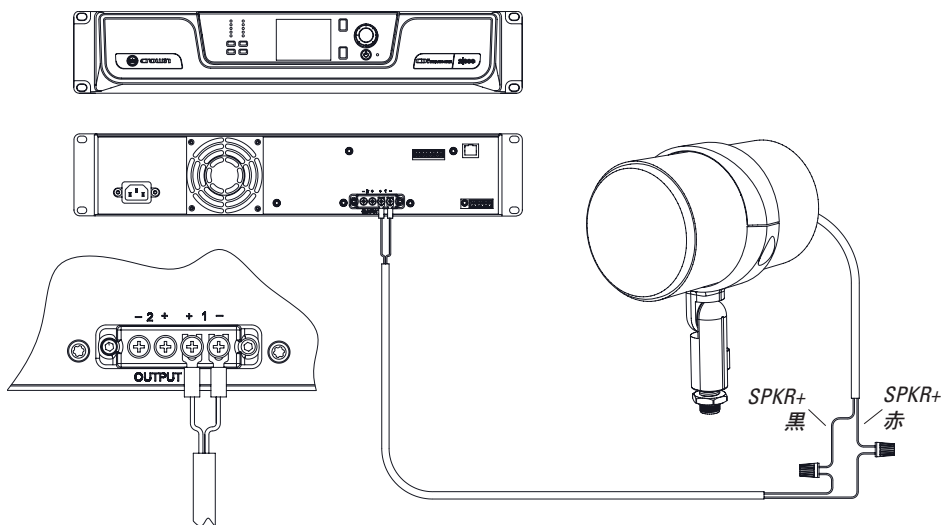


図17

### スピーカーケーブル・ゲージの選択

最高のパフォーマンスのためには、必ず適切なゲージのスピーカーケーブルを使用してください。アンプおよびスピーカー間の距離が長いほど、ケーブルも厚くする必要があります。ゲージ定格(AWG)の数が小さいほど、ケーブルが厚くなります。参考のため、[http://www.crownaudio.com/en/tools/calculators#line\\_loss](http://www.crownaudio.com/en/tools/calculators#line_loss)にアクセスしてください。

## L41XCサテライト・スピーカー

### 低インピーダンス(バイパス)モード

1. アンプからスピーカーまで、信号ワイヤーを通します。「直接埋設」定格ケーブルを使用するか、電線管を使ってワイヤーを通します。
2. 赤(+)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプ出力からの(+)ワイヤーに接続し、黒(-)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプからの(-)ワイヤーに接続します(図18をご覧ください)。確実に接続するため、クリンプコネクタまたはワイヤーナットを使用します。信頼性を高めるため、地下のIP65仕様防水電気ジャンクション・ボックス内部に接続します。

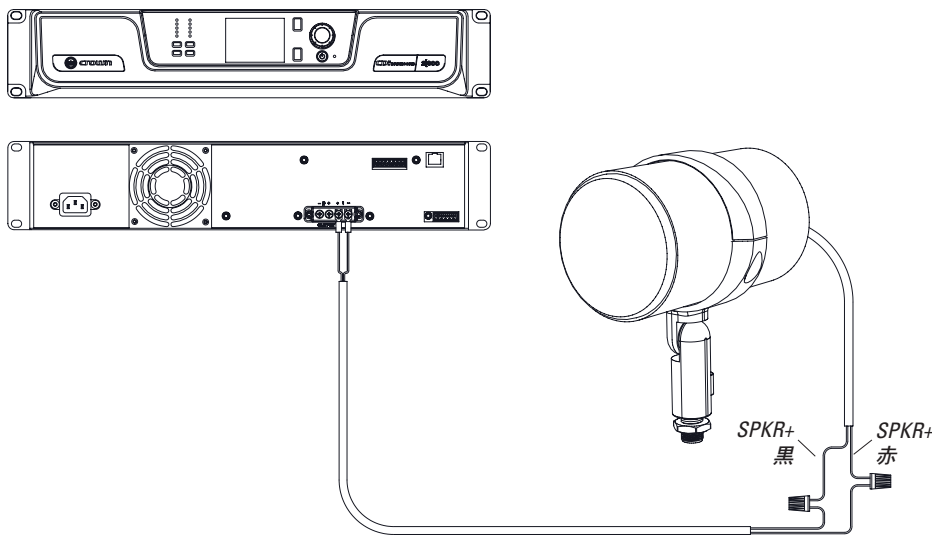


図18

3. L41XCスピーカーは60Wに設定されたトランスに電気を送ります。「バイパス」するためには**セットする必要があります**。図19に示されているように、Philips製保護用ねじを取り外すため、Philips製ヘッドドライバーを使用します。

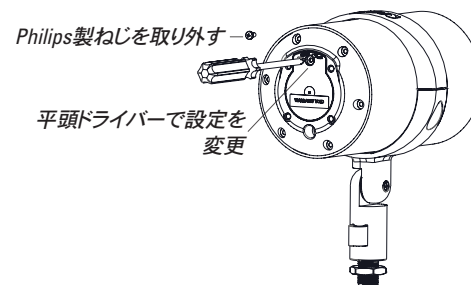


図19

4. 図20に示されているように、トランスタップを「バイパス」に変更するには、平頭ドライバーを使用します。

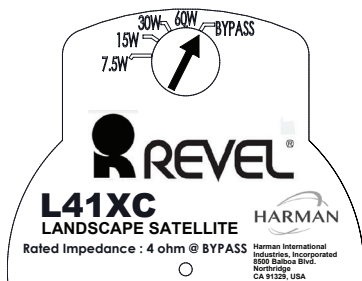


図20

5. Philips製保護用ねじを元に戻し、設定が不正に変更される危険を減らします。

それぞれのL41XCは4Ωです。1つのアンプチャンネルにつき、2基のスピーカーを作動させたい場合、2Ωの負荷で安全に駆動させられるアンプを使う必要があります。大部分の住宅用HiFiアンプやレシーバーでは不可能です。不明な点がある場合は、次に低インピーダンス(バイパス)モードを使用する際に、1つのアンプチャンネルにつき2基以上のスピーカーを接続しないでください。1チャンネルにつき2基以上のL41XCスピーカーを使用する前に、常にアンプの仕様をチェックしてください。2Ω動作向けの定格になっているCrown CDi 2|300またはCDi 2|600ドライブコア・アンプをお勧めします。低インピーダンス・モードで使用している場合、絶対に、並列で3基またはそれ以上の4Ωスピーカーを接続しないでください。

#### 70V分散モード

1. アンプからスピーカーまで、信号ワイヤーを通します。「直接埋設」定格ケーブルを使用するか、電線管を使ってワイヤーを通します
2. 赤(+)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプのスピーカー出力からの(+)ワイヤーに接続し、黒(-)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプからの(-)ワイヤーに接続します(図21をご覧ください)。接続するために、クリンプコネクタまたはワイヤーナットを使用します。信頼性を高めるため、地下のIP65仕様防水電気ジャンクション・ボックス内部に接続します。

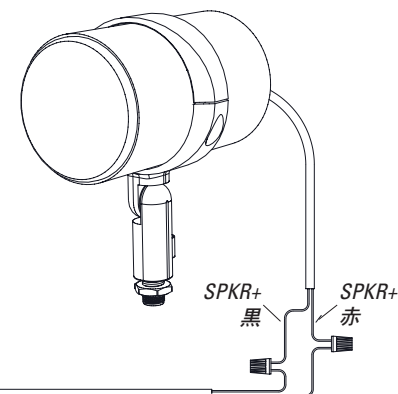
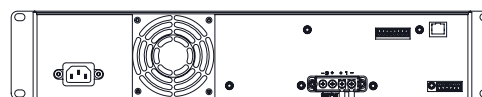
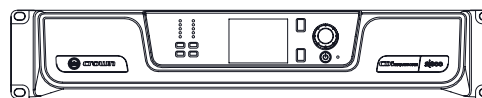


図21

3. L41XCスピーカーは60Wに設定されたトランスに電気を送ります。低出力設定を使用したい場合は、図22に示されているように、Philips製保護用ねじを取り外すため、Philips製ヘッドドライバーを使用します。

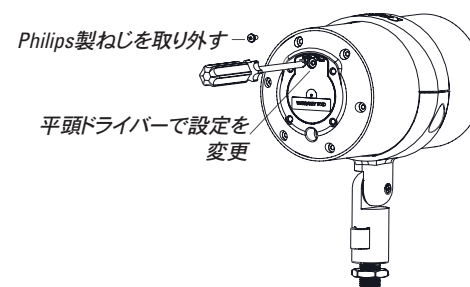


図22

4. 図23に示されているように、トランスタップを好みの電力レベルに変更するには、平頭ドライバーを使用します。

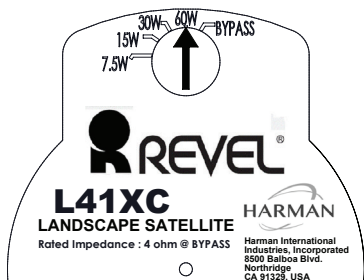


図23

5. Philips製保護用ねじを元に戻し、設定が不正に変更される危険を減らします。

全スピーカータップの合計が、アンプの電力定格を超えることはないという条件で、1つのアンプチャンネルに好きなだけXCスピーカーを接続できます。例えば、それぞれのL42XCスピーカーが60Wに設定されている場合、300Wアンプチャンネルで作動させることができるスピーカーの最大数は5基です。**最良のやり方は、トータルスピーカー負荷をアンプの電力定格の90%に制限することです。**

### 内蔵の照明を接続する

各L42XCは、調光可能な低電圧LEDドライバーとLEDリング照明部品を備えており、通路や他のどのエリアの近くでも、イルミネーションを提供します。ピグテールの緑と白のワイヤーは照明システムの12-15V ACまたはDC配線に接続する必要があります(図24をご覧ください)。LEDドライバーは適切な調光器があってもなくても、磁気低電圧(MLV)または電気低電圧(ELV)ACTランスを受け取ります。各L42XC LEDシステムは最大で約1W減光、最低で3.5Wを消費します。トランスおよび調光器に必要な最低出力負荷は照明が明滅しないように合わせる必要があります。配線の詳細と低電圧での照明システムの操作については、照明システムのメーカーにお問い合わせください。

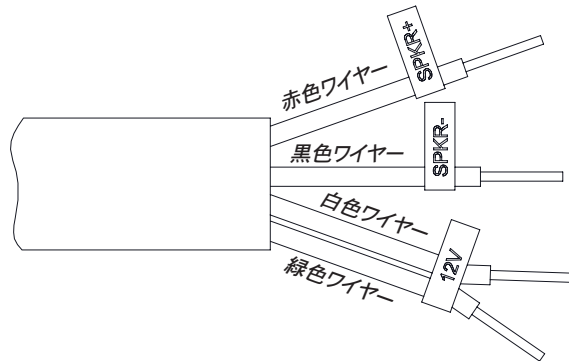


図24

### 低インピーダンス(バイパス)モード

1. アンプからスピーカーまで、信号ワイヤーを通します。「直接埋設」定格ケーブルを使用するか、電線管を使ってワイヤーを通します
2. 赤(+)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプ出力からの(+)ワイヤーに接続し、黒(-)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプからの(-)ワイヤーに接続します(図25をご覧ください)。接続するために、クリンプコネクタまたはワイヤーナットを使用します。信頼性を高めるため、地下のIP65仕様防水電気ジャンクション・ボックス内部に接続します。

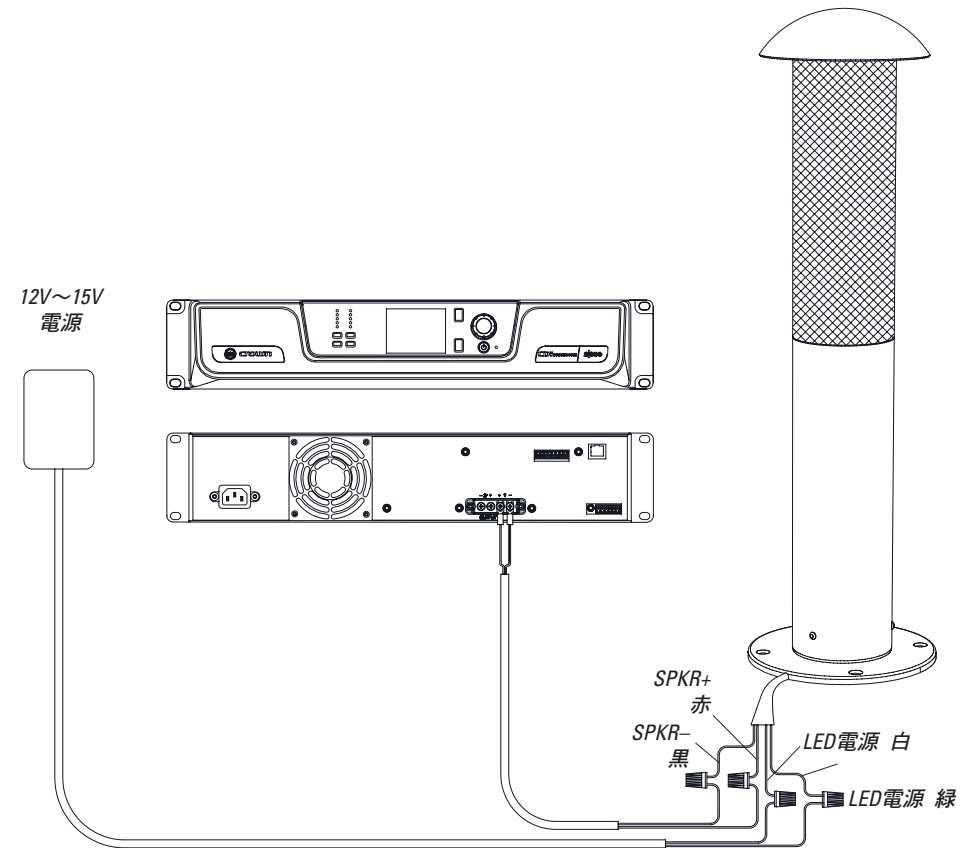


図25



3. L42XCスピーカーは60Wに設定されたトランスに電気を送ります。「バイパス」するためにはリセットする必要があります。図26に示されているように、Philips製保護用ねじを取り外すため、Philips製ヘッドドライバーを使用します。

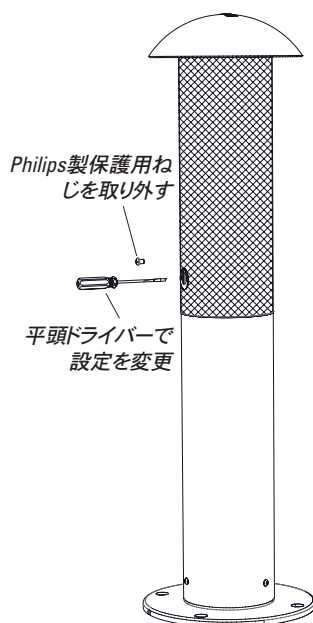


図26

4. 図27に示されているように、トランスタップを「バイパス」に変更するには、平頭ドライバーを使用します。

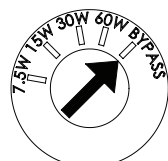


図27

5. Philips製保護用ねじを取り外し、設定を不正に変更する危険を減らします。

それぞれのL42XCは4Ωです。1つのアンプチャンネルにつき、2基のスピーカーを動作させたい場合、2Ωの負荷で安全に駆動させられるアンプを使う必要があります。大部分の住宅用HiFiアンプやレシーバーでは不可能です。不明な点がある場合は、次に低インピーダンス(バイパス)モードを使用する際に、1つのアンプチャンネルにつき2基以上のスピーカーを接続しないでください。1チャンネルにつき2基以上のL42XCスピーカーを使用する前は、常にアンプの仕様をチェックしてください。2Ω動作向けの定格になっているCrown CDI 2|300 CDIまたはCrown CDI 2|600ドライブコア・アンプをお勧めします。絶対に、どのアンプにも並列で3基またはそれ以上の4Ωスピーカーを接続しないでください。

### 70V分散モード

1. アンプからスピーカーまで、信号ワイヤーを通します。「直接埋設」定格ケーブルを使用するか、電線管を使ってワイヤーを通します。
2. 赤(+)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプ出力からの(+)ワイヤーに接続し、黒(-)のスピーカー入力ピグテール・ワイヤーをアンプからの(-)ワイヤーに接続します(図28をご覧ください)。確実に接続するため、クリップコネクタまたはワイヤーナットを使用します。信頼性を高めるため、地下のIP65仕様防水電気ジャンクション・ボックス内部に接続します。

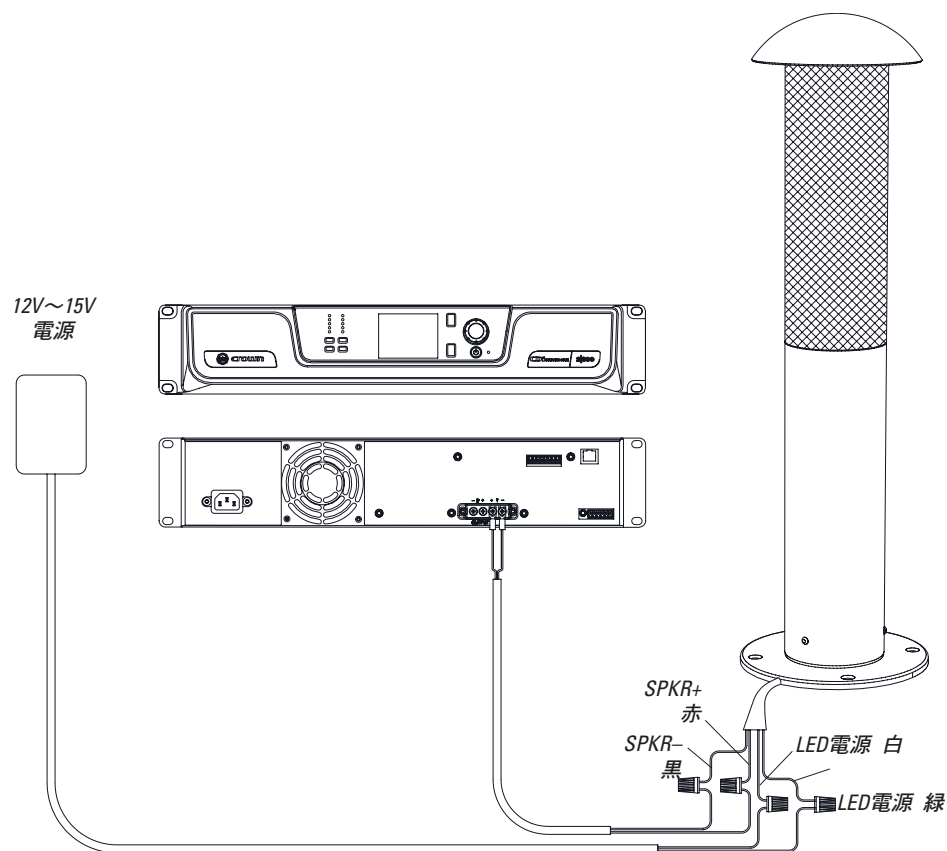


図28

3. L41XCスピーカーは60Wに設定されたトランスに電気を送ります。低出力設定を使用したい場合は、図29に示されているように、Philips製保護用ねじを取り外すため、Philips製ヘッドドライバーを使用します。

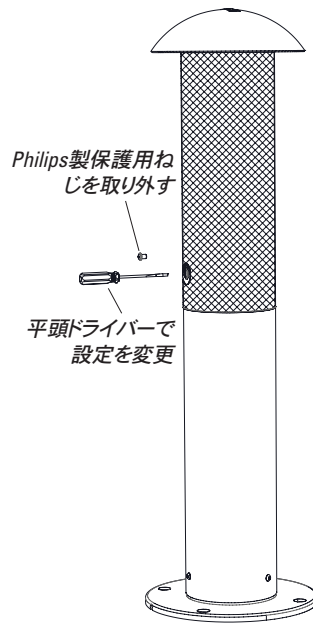


図29

4. 図30に示されているように、トランスタップを好みの電力レベルに変更するには、平頭ドライバーを使用します。

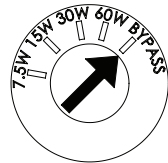


図30

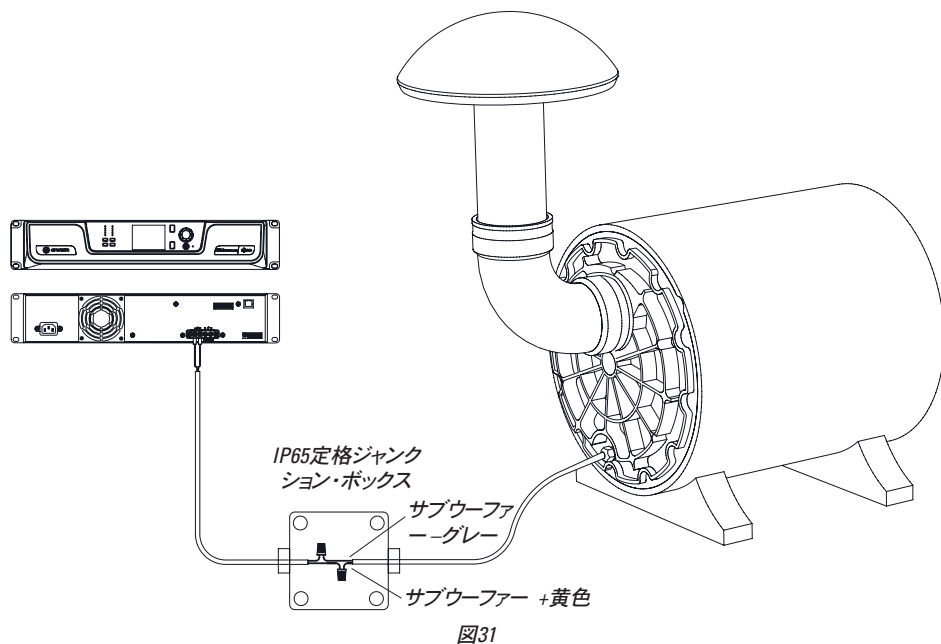
5. Philips製保護用ねじを元に戻し、設定を不正に変更する危険を減らします。

その気になれば、シングルアンプ・チャンネルに多くのスピーカーを並列で接続することはできますが、全スピーカーの合計ワット数はアンプの電力定格を超えてはいけません。例えば、それぞれのL42XCスピーカーが60Wに設定されている場合、300Wアンプチャンネルで作動させることができるスピーカーの最大数は5基です。最良のやり方は、トータルのスピーカー負荷をアンプの電力定格の90%に制限することです。

## 低インピーダンスモード

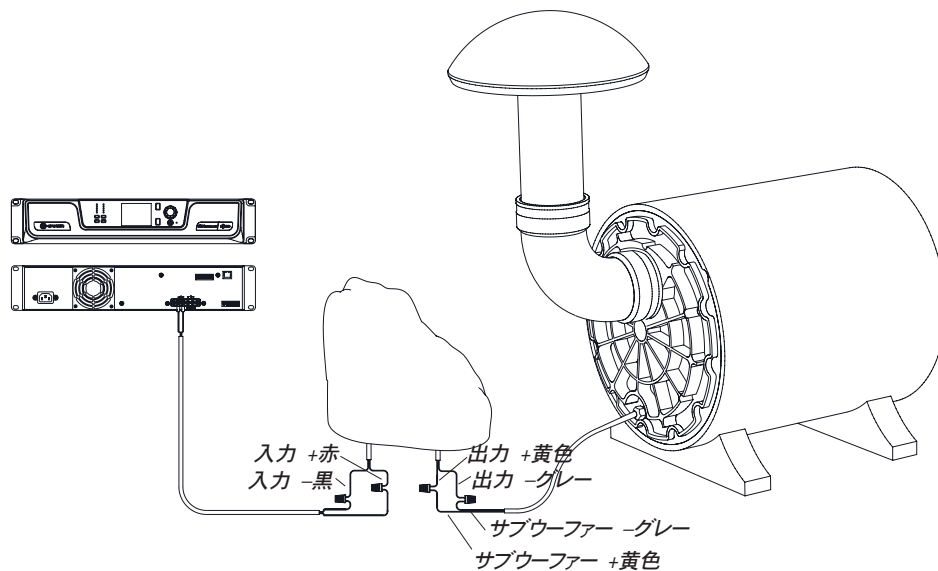
このモードでは、subwooferに内蔵されているロックスタイル・トランスは全く必要ありません。**低インピーダンス・モードで使用する場合、1つのアンプチャンネルにつき2基以上のL12XC 6Ω subwooferを接続しないでください。**

1. アンプからスピーカーまで、信号ワイヤーを通します。「直接埋設」定格ケーブルを使用するか、電線管を使ってワイヤーを通します。
2. 黄色(+)<sub>のsubwooferピグテール・ワイヤーをアンプ出力からの(+)</sub>ワイヤーに接続し、グレー(-)<sub>のsubwooferピグテール入力ワイヤーをアンプ出力からの(-)</sub>ワイヤーに接続します(図31をご覧ください)。接続するために、クリンプコネクタまたはワイヤーナットを使用します。信頼性を高めるため、地下のIP65仕様防水電気ジャンクション・ボックス(別売)内部に接続します。



## 70V分散モード

1. アンプからスピーカーまで、信号ワイヤーを通します。「直接埋設」定格ケーブルを使用するか、電線管を使ってワイヤーを通します。
2. ピグテール用のsubwooferが十分届く近さで、ロックスタイル・トランスを地面に設置します(図32)。



3. subwooferからの黄色(+)<sub>のピグテール・ワイヤーを黄色の(+)</sub>ワイヤーに接続し、グレー(-)<sub>のピグテール・ワイヤーを、ペアで「出力」というラベルの付いたワイヤーの、グレー(-)</sub>のワイヤーに接続します。接続するために、クリンプコネクタまたは付属のワイヤーナットを使用します。
4. アンプ出力から(+)<sub>ワイヤーを赤の(+)</sub>ワイヤーに接続し、アンプからの(-)<sub>ワイヤーをペアで「入力」というラベルの付いたワイヤーの黒(-)</sub>のワイヤーに接続します。接続するために、クリンプコネクタまたは付属のワイヤーナットを使用します。

5. L12XCスピーカーは250Wに設定されたトランスに電気を送ります。低出力設定を使用したい場合は、図33に示されているように、Philips製保護用ねじを取り外すため、Philips製ヘッドドライバーを使用します。

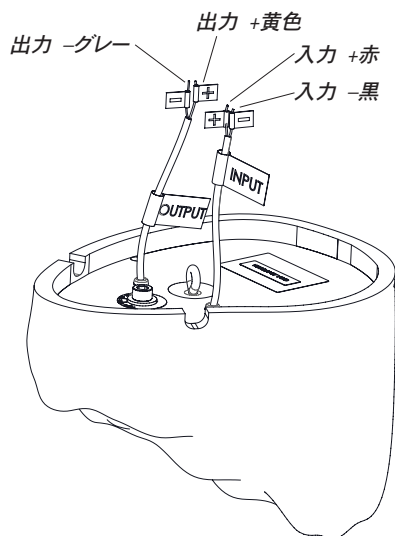


図33

6. 図34に示されているように、トランスタップを好みの電力レベルに変更するには、平頭ドライバーを使用します。

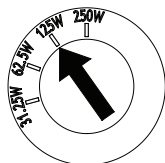


図34

7. Philips製保護用ねじを元に戻し、設定が不正に変更される危険を減らします。

その気になれば、シングルアンプ・チャンネルに多くのスピーカーを並列で接続することはできますが、全スピーカーの合計ワット数はアンプの電力定格を超えてはいけません。例えば、2基のL12XC subwooferを300Wシングルアンプ・チャンネルで作動させている場合、各subwooferが125Wを超えないように設定します。最良のやり方は、**トータルのスピーカー負荷をアンプの電力定格の90%に制限することです。**

## スピーカーの塗装

グリルまたはポートキャノピーを通して製品の邪魔になるか、製品内に入り込んでスピーカー・ドライバー、または他の高感度の内部パーツに接触する可能性があるため、スピーカーの塗装はお勧めしません。塗装でふさがれたグリルを使うと、スピーカーのサウンド・クオリティが著しく劣化します。**Harmanは製品の塗装に対応しておらず、スピーカーの塗装が原因の損傷に責任を負いません。**

軽く湿らせた布で部品をこすり、ミネラルスピリットのような軽めの溶剤でエンクロージャーを掃除します。しかし、エンクロージャーにサンドペーパーまたはスチールワールのような研磨剤は使用しないでください。ガソリン、灯油、アセトン、MEK、塗装用シンナー、強力すぎる洗剤、または他の化学薬品も使用しないでください。これらの洗浄剤を使用すると、エンクロージャーに修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ご自身がリスクを承知でスピーカーの塗装を選択する場合、確実にエンクロージャーだけを塗装するように注意し、グリルやポートキャノピーの近くは塗装しないでください。清掃後は、ローラー、ブラシ、スプレーを使ってエンクロージャーに、ラテックスまたは油性塗料で2回またはそれ以上の回数、薄くコーティングをしてください。最初に油性の下塗り剤を使用すれば、ラテックス塗料はよりしっかりと付着します。

## 手入れとメンテナンス

Revel XC Seriesラウドスケープ・スピーカーは耐久性と信頼できる駆動を追求して設計、製造されました。あらゆる優れた製品と同様に、適切なメンテナンスと手入れでシステムの寿命を伸ばすことができます。

許容入力の規定の制限内でシステムを使用し、乱用しなければ、システム・コンポーネントの作動期間は半永久的です。

ラウドスピーカーを常に、強力な超低周波信号(30Hz以下の信号)によるオーバー・エクサレーションから保護してください。アンプに「ローカット」または「ハイパス」スイッチが付いている場合は、スイッチを入れてください。

Revel(レベル) XCラウドスケープ・ラウドスピーカーは荒天に直接さらしても耐えられるほど耐久性に優れているので、しばらく屋外に置いて汚れても大丈夫です。庭のホースまたはスプレーボトルからの低圧水流で水洗いできます。その後柔らかい布で拭いて乾かします。L12XC Subwooferのポートキャノピーの下にスプレーしないように注意してください。ドライバーがダメージを受けて製品が作動しなくなる可能性があるため、高圧ウォッシャーまたは高圧水流をラウドスピーカーの前面に直接当てないでください。

## 仕様

特徴	L41XC	L42XC	L12XC
低周波ドライバーサイズと素材	4インチ・マイクロ・セラミック・コンポジット(MCC) アルミニウムコーン・ウーファー	4インチ・マイクロ・セラミック・コンポジット(MCC) 2 アルミニウムコーン・ウーファー	12インチ陽極酸化アルミニウム コーンSubwoofer
高周波ドライバーサイズと素材	0.75インチ・マイクロ・セラミック・コンポジット (MCC) アルミニウム・ドームツイーター	1インチ・マイクロ・セラミック・コンポジット(MCC) アルミニウム・ドームツイーター	該当なし
推奨アンプ出力	最大60W	最大60W	最大250W
70Vトランスタップ	7.5W、15W、30W、60W	7.5W、15W、30W、60W	31.75W、62.5W、125W、250W
電圧	70V	70V	70V
定格インピーダンス	バイパスモードで4Ω	バイパスモードで4Ω	トランスなしで6Ω
ラウドスピーカーの出力音圧レベル	バイパスモードで83dB(2.83V@1M)	バイパスモードで83dB(2.83V@1M)	トランスなしで86dB(2.83V@1M)
周波数特性	100Hz～20kHz@-3dB	80Hz～20kHz@-3dB	25Hz～100Hz@-3dB
クロスオーバー周波数	5.5kHz	2.9kHz	該当なし
寸法の詳細	スピーカー本体の長さ、23.3cm(9.2インチ) スピーカー本体の直径、13.2cm(5.2インチ) クランプおよびベース付きの高さ、28.5cm(11.3イ ンチ) クランプおよびスパイク付きの高さ、59cm(23.2イ ンチ)	スピーカー本体の直径、13.2cm(5.2インチ) フードの直径、21.8cm(8.58インチ) 設置ベースの直径、25cm(9.8インチ) ベース付きの高さ、85.5cm(33.7インチ) MXC取り付けブラケット(別売) 全長25cm(9.8インチ)x 幅25cm(9.8インチ)x 高さ5.8cm(2.3インチ)	エンクロージャーの長さ、53.3cm(20.77インチ) エンクロージャー、ひじ管、ポート、フードを含めた 全長、88.7cm(35インチ) エンクロージャーの直径、45.5cm(18インチ) 脚付きのエンクロージャーの高さ、50cm(19.7イン チ) エンクロージャー、ポート、フードを含めた全長、 87.8cm
寸法の合計	全長23.3cm(9.2インチ)x 幅16.4cm(6.5インチ)x 高さ28.5cm(11.3インチ)	全長21.8cm(8.58インチ)x 幅21.8cm(8.58インチ)x 高さ85.5cm(33.7インチ)	全長88.7cm(35インチ)x 幅45.5cm(18インチ)x 高さ87.8cm(34.6インチ)
重量	スピーカーおよびクランプ部品-4.5kg(9.9ポンド)	スピーカー-9.4kg(20.7ポンド); MXC取り付けブラケット(別売)1kg(2.2ポンド)	スピーカーおよびポート部品-30.1kg(66.4ポンド) ロックトランス-3.7kg(8.2ポンド)



## L42XC LEDの電氣的仕様

### LED PCB ASSY

装備品の型	天候耐性カスタム・エポキシ密閉リング
光源	LED
LEDの数	16(8つのLEDが直列で2列)
ワット数	~3.5W
ライト出力	130(ルーメン)
ライトの向き	ダウンライト
色温度(CCT)	3000K
演色指数(CRI)	80
寿命	100,000時間
LEDストリングの合計順電圧	24VDC

### LED DRIVER ASSY.

入力電圧(AC)	12~15 +/-10%
入力電圧(DC)	8~24 +/-10%
入力電流	500mA
ワット数	3.5W
減光機能	あり
型	定電流
出力チャンネル	2
出力電流	50mA/チャンネル
切り替え周波数	2.2MHz
スイッチャータイプ	SEPIC
調光	調光可能(MLV、ELVおよびユニバーサル・ディマー対応)
動作温度	-40~125C
安全保護	突入電流保護、ESD 入力電圧 OVP、UVLO、OCP 断線してショートしたLEDの障害検出 熱によるシャットダウン

## 限定保証書

Revel(レベル)ラウドスピーカーに欠陥がある場合は保証されます。保証書の有効期限はこの製品を購入した国の法律によります。お住まいの地域のRevel(レベル)販売店で保証書の有効期限と保証範囲を知ることができます。

詳細については、以下のサイトにアクセスしてください: REVELSPEAKERS.COM

Please visit REVELSPEAKERS.COM for additional language support on the user manual.

Veillez visiter REVELSPEAKERS.COM pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Para obter o manual do usuário em outros idiomas, acesse REVELSPEAKERS.COM

Ga naar REVELSPEAKERS.COM voor de handleiding in andere talen.

Gå til REVELSPEAKERS.COM for bruksanvisning på flere språk.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт REVELSPEAKERS.COM.

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、REVELSPEAKERS.COMにアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 REVELSPEAKERS.COM에서 확인하십시오

请访问 REVELSPEAKERS.COM 以获取其他语言版本的用户手册。

Visita REVELSPEAKERS.COM para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter REVELSPEAKERS.COM.

Si prega di visitare REVELSPEAKERS.COM per i manuali di istruzioni in altre lingue.

Jos tarvitset ylimääräistä kieleen liittyvää tukea käyttöohjeesta, käy osoitteessa REVELSPEAKERS.COM.

Gå ind på REVELSPEAKERS.COM for at se betjeningsvejledningen på flere sprog.

Gå till REVELSPEAKERS.COM för mer information om språk i användarmanualen.



产品中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件 (不包括特定电子零件), 内部相关连接线	X	O	O	O	O	O
箱体	外壳, 面板, 背板等	X	O	O	O	O	O
特定电子零部件	变压器, 保险丝, 大型电解电容, 电源插座	X	O	O	O	O	O
附件	电线, 说明书, 包装等	X	O	O	O	O	O

本表格依据SJ/T 11364的规定编制

O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EPU)符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。



ハーマン・インターナショナル株式会社(HARMAN International, Incorporated)  
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

© 2017 HARMAN International, Incorporated(ハーマン・インターナショナル株式会社)。無断複写・転載を禁じます。

Revel(レベル)およびRevelロゴは、ハーマン・インターナショナル株式会社(HARMAN International, Incorporated)の登録商標で、米国および/またはその他の国々で登録されています。

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

弊社製品に関する質問、サポート、または追加情報については次の番号に  
お電話ください: (516) 594-0300 or (888) 691-4171。テクニカルサポートについては、問い合わせの詳細を送信してください

CE パートNo. 950-0548-001



www.revelspeakers.com